

# 有限会社ケーアイ建築設計 SDGs宣言書



当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2022年6月1日

有限会社ケーアイ建築設計  
代表取締役 川中 節男

## ◆経営方針

人々の集まりをカタチにする設計の取り組み、社会の持続的発展に貢献する設計事務所を目指す。

## ◆目指す姿

「自然と対話して読み取ってこそ建築のカタチが見えて来る。」

「人と対話してこそ建築のカタチが見える。」

「人々の集まりをカタチにした建物づくりを考えたい。」

これらを基に安全性、居住性、経済性に優れた持続可能な建築設計に取り組めます。

## SDGsの達成に向けた取り組み

### 持続可能な建築の設計

社会的責任を認識し、環境にやさしい循環型建物・長く続けられる建物の設計により持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

<具体的な取り組み>

信頼出来る持続可能な近代的エネルギーへのアクセスをし気候変動及びその影響を軽減するための対策を講じ、建物、ZEH住宅により再生可能エネルギーの利用が可能物の普及に努めていきます。

— 関連ゴール —



### 社会・地域に貢献

地域経済活性化に向けた取り組みや様々な社会貢献活動実践により、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

<具体的な取り組み>

地元学生のインターンシップ受け入れ、地元人材の積極社員の心身の健康が重要であると考え、健康保持・増進に向けた取り組みを積極的に行ってまいります。「やりがい」を持って働くことができる職場環境づくりに努めていき

— 関連ゴール —



### 公正な事業抗生慣行

コンプライアンス徹底や情報の適切な扱い事業継続体制策など、公正な事業慣行の実践を通じてクライアント地から信頼される設計事務所を目指してまいります。

<具体的な取り組み>

法令順守・コンプライアンス徹底への取り組み、プライバシーの策定・順守、BCPの策定に努めます。

— 関連ゴール —



### 誰もが安心して働ける職場づくり

人材育成や労働環境整備を通じて社員全員が働き易くやいのある職場環境づくりを実践してまいります。

<具体的な取り組み>

社会状況の変化に対応し企業として持続可能に成長し続けるため、社員がいきいきと働ける人材育成と職場環境づくり、社員の成長に応じた人事評価及び技術、知識支援の策を行ってまいります。

— 関連ゴール —



## SDGsとは

2015年に国連で採択されたSustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。

2030年までに持続可能なより良い社会を実現するために取り組むべき169のターゲットが掲げられている。

